

もとぶ議会だより



ハイサイ

第111号

平成29年9月29日
発行

レンタカー事故防止に向けたチラシ配布



国営沖縄記念公園海洋博公園にて

主な誌面紹介

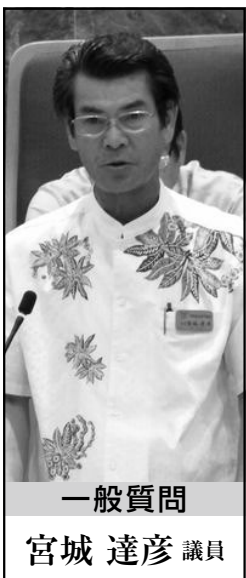
平成29年6月定例会

- | | |
|------------------------|--------------------------|
| ●一般質問一覧……………2 | ●平成28年度一般会計繰越明許費事業一覧……15 |
| ●一般質問(11名)……………3-13 | ●研修会等……………16 |
| ●平成29年6月定例会審議案件……………14 | ●編集後記……………16 |

北部地域の安全・安心な空の救急車 民間救急ヘリ再開

宮城議員 民間救急ヘリを運行するメッシュ・サポートが活動開始から十年を迎えた。本年度は、北部十二市町村からの補助が見送られ、現在は、運休している。再開の見通しは立っていない。運休は命にかかわる問題。北部地域の安全、安心な空の救急車、民間ヘリ再開について。メッシュ・サポート民間救急ヘリ運休状況の見解を伺います。

町長 北振事業で支援することとなったメッシュ・サポートの申し出内容は、平成二十八年度までの三年余、行政からの補助を受けることが可能であれば、平成二十九年度以降については自主運営していくとの内容で、十二市町村として合意し、支援することに至って



一般質問
宮城 達彦 議員

おります。しかし現在、当該事業が終了したところ等もあり、自立できる体制が現在のところ構築されていないことから運休に至っている現状であります。

宮城議員 国のほうから断続的に、今回も補助金は推奨をされたとマスコミのほうでうたわれているんですが、この辺はどうですか。

町長 新聞報道には、確かに国からの継続補助の推奨はもらっている、自治体からも継続補助の回答をもらいたいというようなコメントが載っておりますが、市町は、メッシュ・サポートの運営体制などを調査してから今後結論を出したいというコメントですね。

宮城議員 私はまず救急の主に離島の皆様の命は、どこにあるかと、ものすごく遺憾です。市町村の意見がまとまらない場合は、国頭、大宜味、東、伊江、伊平屋、伊是名の六村で二割を負担し、運航再開を目指す予定と。大

宜味村の宮城村長は、そういうふうに通っておりまして、この辺のほうは、この六村でこれはできるものではないか。

町長 これは実際、具体的に議論していないんです、この件につきましては。テーブルにものっていないし、広域ですね。大宜味村長の熱意は非常にわかりますが、まだこれは正式な議論にはなっていないということでございます。今後、緊急医療体制をどうするかについては、非常に重要課題と捉えておりまして、また次の理事会等でも議題になるうかと思えます。積極的に緊急医療体制の対応については、お互い考えないといけないだろうというような提案も私のほうからしてもまいりたいと思えます。それと同時に、県のヘリの利活用と、あとは、中長期的な、即ヘリポートを設置されている基幹病院、中核病院の設立、これは非

常に関連しますので、そこら辺も私どもは認識しながら進めてまいらないといけないと思っております。

宮城議員 確かに県のドクターヘリも、ものすごく活躍しています。先ほど町長のほうから基幹病院のお話もありました。これも私は絶対必要だと思っています。しかし、今求めている病院がいつできるか未定でありますよね。その間、離島の命は、どうなるんでしょうか。我が本部町唯一の離島の水納島の状況報告を、現状を述べたいと思います。水納ビーチ活性化連絡協議会を発足させ、立て看板で安全注意事項を知らせているが、水難事故、海洋危険生物などによる被害、観光客がふえるにつれて事故が多くなっている。事故が起きると、救急の場



寄付金を贈る
水納島班長湧川さん

合は助けられない命が何件もあった。平成二十年頃NPO法人メッシュ・サポートが運営を始めてからは、多くの命を助けることができている。水納島の班長を中心に、水納住民の寄付金や観光客の募金を二〇一五年から一六、一七年と、救える命のために実施している。町長、町民の生命を守る立場として、安全が第一を前提に救急ヘリの再開が望まれると私は思っております。

町長 議員のほうから切実な訴えがございました。私も同感でありまして、北部広域市町村圏の理事会で、皆様の意見がうまくまとまるような形で私としても前向きに検討するようには努力はしてまいりたいと考えております。

宮城議員 北部市町村の皆さんが安心、安全に住めるようなまちづくりをお願いします。

平成29年6月定例会一般質問

質問順	質問者	質問事項
1	宮城 達彦	1.北部地域の安全・安心な空の救急車、民間救急ヘリの再開について
2	喜納 政樹	1.本部町子ども・子育て支援事業計画について 2.子どもの貧困問題について
3	伊良波 勤	1.道路整備について 2.国道505号雑木伐採について 3.買い物支援について
4	崎浜 秀昭	1.大型クルーズ船の受け入れ対応について 2.沖縄県鉄軌道計画の海洋博公園までの延長要請について
5	小橋川 健	1.町民体育館・町営グラウンドの使用状況有効的な運営について 2.本部町の買い物支援への取り組みについて
6	具志堅 正英	1.備瀬海岸の安全対策とイノーの保全について 2.本部町フクギ集落の整備計画について 3.町営団地について 4.上本部小学校上本部中学校の一貫校について
7	仲宗根須磨子	1.もとぶふれあい交流館について 2.浜元地区に予定されているマンション建設計画について
8	真部 卓也	1.本部中学校ナイター照明設備の管理・使用方法について
9	松川 秀清	1.交通信号の系統化について 2.役場職員採用について 3.伝統文化について
10	具志堅 勉	1.町営住宅の在り方について 2.医療費の抑制について 3.町営ホールの建て替えについて
11	比嘉 由具	1.地域活性化について 2.農業委員・農地利用最適化推進委員の募集について

①具志堅、嘉津宇道路整備 ②美しい町づくりを!! ③高齢者に買い物サービスを!!



一般質問
伊良波 勤 議員

伊良波議員 本部町の平成二十九年度施政方針にもあります道路整備、具志堅区嘉津宇の現状、具体的な日程について伺います。

町長 施政方針に関連した道路整備の中で、嘉津宇具志堅線の整備の件でございますが、沖縄北部連携促進特別振興特定開発事業で、平成二十九年度から平成三十三年度までの五カ年計画で現在、内閣府と調整を行っている状況でございます。ただ、その中で、国のほうはいつものことながら言っているのはB／C費用対効果のお話でありまして、そのネットワークになっているB／C効果のクリアについて、私どもも今、一生懸命合理的な説明と、その辺を工夫しながら内閣府に説明している

状況でございます。ぜひとも私どもは、そこは整備したいと考えております。整備の中身といたしましては、延長千七百七十メートル、幅員が四メートルから六メートルの整備計画となっております。現在の段階での事業費といたしましては、約五億三千万円程度を予定しております。

伊良波議員 長年放置されてきた国道五〇五号雑木伐採について、現在、歩道を越え、道路にかぶせる状況があります。管轄団体への要請について伺います。

町長 議員が言われるように、長年放置しております国道沿いの雑木や、雑草が余りにも見苦しいということはおもいかねがね感じておりますし、現場も従来から確認をしているところでありまして。浦崎区から具志堅区間の現場を踏査しているところ、場所によっては議員がご指摘のとおり、道

路まで覆い被さっている状況や歩道側についても雑草が生えて著しく景観を損なっているという箇所が多数見られます。当該道路は、通学路や、また観光道路としての機能も果たしており、非常に交通の要衝といえますが、非常に交通の便もありまして、そのような状況の中でこのような実態は看過できないということを従来から思っております。その管理について、従来から北部土木事務所にも申し上げておりますが、強く文書等も含めて要請をしてみたいと考えております。近々、県の土木建築部と北部の市町村長を含めた関係課長を入れての懇談会も予定されておりますし、その場で強く申し入れをしていきたいと考えております。

伊良波議員 買い物支援について、高齢者への買い物支援、サービス等の町の考え方を伺います。

町長 団塊の世代が

七十五歳の後期高齢者となる二〇二五年問題については、我が国では高齢者が住み慣れた地域の中で、生活の質を高め、自分らしく自立した生活を継続していくことができるよう、地域包括ケアシステムの構築を現在町でも目指し、取り組んでいるところでありまして。ご質問の件は、地域によつては交通機関等がなく、また小型商店への減少に伴い、自宅から商店までの間、徒歩では行けない等、問題が生じている地域がございます。そのような中で、健堅区のように民間企業により買い物支援を、自主的に展開を行っている地域もあります。また、本部町社会福祉協議会では、事業として新たに今年から新車両を購入し、地域買い物安心ふれあい号の車両を貸し出しするなどサービスも実施しております。町といたしましては、地域の自主性や主体性に基づき、地域の持つ

力を最大限に引き出しながら、買い物支援等のどうサービスを町民に対して提供しているか取り組んでいきたいと考えております。実際、細かく、どの地域が困っているのか、まずその実態を把握して、どういうような支援をしてほしいのか、そのニーズを的確に把握してまいります。その地域によつては、支援の方法、方策も変わってくると思いますが、また地域資源、地域の協力できるような方々とか、そういう協力も得ないと全て役場職員がというわけにもできませんし、実態としては、やっぱり社協を含めて、こういう地域の方々の協力も得ながら何とか住みよい地域社会づくりと住める、地域づくりのためにそういう困っている方々に対しては手を差し伸べていけるような方策を考えていきたいと考えています。

本町における児童福祉について問う!!



一般質問
喜納 政樹 議員

喜納議員 本部町子ども・子育て支援事業計画も五年間の半ばを迎え、本部町子ども・子育て会議の中で平成二十七年、平成二十八年の進捗管理がなされているものかと考えますが、会議の中で、どのような点検・評価ができたのか。本部町子ども・子育て支援事業計画の進捗状況を伺います。

町長 本部町子ども・子育て会議につきましては平成二十七年、平成二十八年の開催はございませんでした。なお、平成二十六年に三回の会議を持ち『本部町子ども・子育て支援事業計画』を策定しております。その後の計画の進捗につきましては平成二十七年、平成二十八年に予定しております

事業は達成しておりますので、全体会議は開催せず、事務局の方で点検作業を行っております。

喜納議員 計画を推進していくためにはPDCAサイクルの確保が必要であると言いますが、明記されておりますが、その体制は確保されているのか伺います。

福祉課長 平成二十七年、平成二十八年の会議を開く状況がなかったものですから、なかったと言うよりは計画通り我々の方で事業は進んでおりましたので、その中で諮る議題としてなかったと言うことであります。その評価につきましては事業の中で我々の中で評価してございました。

喜納議員 平成二十七年、平成二十八年は予定していた事業は達成できたので全体会議は開催しております。ん、事務局の方で評価をいたしましたと言う事ですが子ども・子育て支援会議は福祉の問題だ

けではなく教育の問題も絡んできます。そう言ったことからすると全くPDCAサイクルの確保はされていなかったと言う事なんです。いかがですか。

福祉課長 我々の方で点検、評価したと言う事でありましたけれども、議員のおっしゃる通り、その進捗なり状況なりを会議の中で諮るべきだったと反省しております。次の目標計画など、方向性も示されたのかなと思っております。今後、新たな事業の計画の推進もありますので、早々委員の委嘱を進めて、会議が開催できるようにしたいと思っております。

喜納議員 本部町子ども・子育て支援事業計画の中後半に当たる平成二十九年度、平成三十一年度、平成三十一年度では、どのような施策を展開していくのか伺います。

町長 子ども・子育て支援事業計画の中後半において必要としている事業についてであり

ますが、放課後児童健全育成事業と地域子育て支援拠点事業の二つでございます。現在、実施しております同事業の利用状況で、特に必要とされる事業が放課後健全育成事業、いわゆる学童事業ですが、昨年度までは学童の待機児童がおりませんでした。今年度中については、実施事業所で定員オーバーしている状況であります。今後は、学童の開設に向けて、本部町子ども・子育て支援会議を開催し検討してまいります。また、同計画では、地域子育て支援拠点事業を、もう一カ所設けることになっておりますが、実施方法等も含め、本部町子ども・子育て支援会議で諮っております。その間、実施状況の点検評価や現状にあった計画の見直し等についても会議の中で検討してまいります。

喜納議員 本町における子ども貧困問題に関する実態調査の調査完

了を受け、調査結果を伺うとともに問題解決に向けての課題と方策を伺います。

町長 沖縄県子ども貧困実態調査の結果を踏まえ、本町においても同様の調査を昨年度実施しております。アンケートの対象として、小学校五年生、中学二年生、本部高校生全生徒とその保護者へ行っております。その結果をみますと、沖縄県の調査結果より、本町の児童生徒の方が貧困の度合いが高いものと考えられます。その結果を踏まえ、今年度より社会福祉士、二名の支援員を配置し学校現場での情報収集や情報交換、個別の家庭訪問など、貧困世帯の子供達を支援しております。また、今年度も夏休み子ども食堂を社協と連携し、町内公民館数か所で開催する予定であります。さらに就学援助制度利用者を対象とした無料塾を今年度開設する方向で現在準備を進めています。

①町民体育館・町営グラウンドの有効的な運営 ②本部町の買い物支援への取り組み



一般質問
小橋川 健 議員

小橋川議員 ①町民体育館、町営グラウンドの使用状況、有効的な運営について。我が本部町のスポーツ活動、スポーツ振興のシンボルであるべき町民体育館、町営グラウンドが、運営の七割を超える町の予算が使用されているのにもかかわらず、職員の対応に対するクレームや、予約に関する利便性の悪さ、休館日を理由に、使用許可が降りない等、本来は使用ありきの町の施設が、施設管理側は使用させたくないのではないかという声まで聞けるほど、町内外からの不満や指摘の声を多く耳にしますが、その事を踏まえて、今より多くの方が利用しやすいよう、使用規則の見直しや管理者側のより使用者の側に寄り添っ

う一度伺います。**商工観光課長** 今年度はすでに六月十九日で四隻入港しています。最後が六月二十九日に入港予定であります。六月三日に入港して船のお客様の行先は、バス会社やツアーを企画したのが、まず記念公園を出発して、パイナップルパーク、ショッピング、名護のほうです。二番目が今帰仁城跡コース、三番目が万座毛コース、四番目が古宇利島コースとなっております。ツアー参加者は約八百名で、その他のフリー客については町の方でシャトルバス三台準備して約四百名を、かりゆし市場前の夕市にピストン運行で輸送しました。**町長** 旅行者がコースを決めて、それに乗っかる方法はなかなか地元には降らないし、失礼な言い方かもしれないが、金を落とさないとこういうことがありまして、町にとってクルーズ船が来ることによって、町に元気が出

た意識の改革が必要だと私は思いますが、委託補助をされている当局の考えを求めます。**教育長** 体育館、運動公園を指定管理させていきさつにつきまして、は、これによりサービスの向上と経費削減も含めて、そういった事を主な理由として体育協会、それから体育協会の育成も含めて、体育協会に指定管理をさせているわけですが、私も、私たちとしては適切に管理はしていると思いますが、先ほどご指摘にもありました、例えば五月の連休の期間を休みにしているという、町民へのサービスが悪いという点も指摘されておりますので、そういう面は体育協会と十分調整をして、今後、そういった住民サービスの向上に努めていきたいと考えております。**小橋川議員** 次に町民体育館、町営グラウンドの稼働を上げ、有効利用するための私の提言ですが、もっと青少

年の育成を目的とした大会を、町内外から招致し、使用料の減免やサポートを行い、本部町でより多くのスポーツ大会を行う事は、できないでしょうか。そういった大会が多く行われることによって、青少年の育成だけではなく、町民体育館、町営グラウンド、ひいては本部町の認知度も上がって、町全体へ様々な波及効果も望め、施設の有効利用につながると考えますが、この件に対する当局の考えをお聞かせします。**教育委員会事務局長** 青少年の拡充に関してはですね、我々としては子ども会、あるいは児童生徒のものでですね。なくなつたイベント等も復活しております。て、児童オリンピックとか、あと新春のマラソン大会も復活されておりますので、町営グラウンドを拠点とした大会イベント等をもっと盛り上げて、多くの参加者が来るようにやっていきたいと思いま

す。青少年健全育成の面の取り組みの方も年間事業計画の見直しをして、そこを活用したイベント等を検討していきたいと思えます。**小橋川議員** ②本部町の買い物支援への取り組みについて。昨今の町民の高齢化に伴い高齢者同士の世帯、高齢者の一人暮らし世帯がふえている現状の中、従来、地域を支えてきた小型商店の減少も相まって、日々の買い物に苦慮する町民の方が増えている中、大型スーパー、コンビニエンスストアの有る買い物の利便性の町内格差が、ますます進んでいくと予想されますが、その現状を当局はどうお考えなのかお聞かせします。**町長** 高齢者への買い物支援に関しましては、地域の小型商店の減少に伴い、自宅より徒歩での買い物ができない地区も出てきております。健康区が現在行っている、合同会社健康による積極的な買

い物支援等、すばらしいケースをふまえ、本町の社会福祉協議会では、事業として新たに今年から、新車両を購入し、地域買い物安心ふれあい号の車両を貸し出すサービスを行っております。本町としましては、地域の自主性や主体性に基づき、地域の持つ力を最大限に引き出すとともに、ニーズを把握し、対応してまいりたいと思えます。**小橋川議員** これからますます町民の高齢化が進むと予想されますので、この問題は今後とも町の課題として考えられる事案だと思います。今お話にもありましたように、現状を踏まえて、町民の地域における生活の利便性の格差があつてはいけませんし、利便性を向上させることは、ひいては町の人口の増加にもつながる事案だと考えます。大変な問題ではありますが、これからも当局の真摯で、迅速な対応を望みます。

①クルーズ船受け入れ対応について ②沖縄県鉄軌道計画の海洋博公園までの延長要請について



一般質問
崎浜 秀昭 議員

崎浜議員 大型クルーズ船は約三千人乗りが入る予定となっております。観光客の搬送はどうなっているか。**町長** クルーズ船が寄港される際には、船会社との間でのオフショア、ツアーが計画され、ツアーに参加される人数によって、バスを旅行会社が現在手配しているところでありまして。町と致しては直接にはかわつてはおりませんが、ツアー内容の把握を行い、本町として何ができるか十分に検討して支援してまいりたいと思えます。

崎浜議員 今年は何件入港し、上陸した方々がどこにいつているのか、本部町にどのような利益が見込まれるのか、誘致の目的が見えないのでそこら辺をも

て潤うという部分が出てこないという部分がないわけですから、お互いクルーズ船対応についてはきめ細やかに対応してまいります。**崎浜議員** 国際クルーズ拠点計画は、世界が平和であることが大前提だと思えます。しかし、今のアジア情勢を見たときにこれが一過性のものになる可能性があるのではないかと危惧しています。その点お伺いします。**町長** 全世界が平和であることは大前提でありまして、現状としては国際情勢の極端な変化だとか、インバウンドの落ち込みはないであろうということ、県のほうも観光客全体で一千万人から、一千二百万人に目標を上げている状況で、今後、沖縄も活況を呈すると思われれます。対応については、関係団体と協力しながら、本部町、沖縄県の北部、ヤンバルが一過性にならないように、しっかりと取り組んでまいりた

いと考えています。**崎浜議員** 記念公園までの鉄軌道延長要請の件ですが、県内有数の観光地、海洋博公園の入場者は、二〇一五年四百六十万人、二〇一六年四百八十九万人で前年比二十九万も増加し、現在、公園駐車場は満杯状態が多々起き、そのため二〇一六年十月から土、日は駐車場の混雑状況をカーナビで検索できるように情報提供が行われています。これは事実上の入場制限だと思えます。車でのアクセスに限界を示しており、この問題を解決しないまま国道四四九号線を拡充されているが、海洋博公園への乗り入れはさらに袋小路となり、厳しい状況になることが予想されます。花火大会等大きなイベントがあるときは、大渋滞が起きます。今後とも観光客は増え続け、駐車場も満杯、クルーズ船も寄港し、一大観光地でありながら観光客の利便性が全く考慮されておられません。その点

を強く訴えて再度要請をしていただきたいと思いますが、当局の見解を伺います。**町長** 今後の本部町における観光振興及び、産業振興に接続するまちづくりとして、総合的に検討してまいります。今後、県の取組みとしましては、検討委員会において、ライダー交通の需要予測を踏まえた計画策定に至るとの説明を受けています。県の進捗状況をみながら、既存交通機関や県と連携し、本部町の町益につながる交通体系の体制づくりを検討してまいります。どうしても今の段階で要請を早めにするばいいということではなく、適切な時期を見計らい、再度継続的に要請してまいりたいと考えております。駐車場満杯の件に関しては、公園事務所と意見交換会を、年に二、三回行っており、その中で問題提起し、連携しながら取り組んでいきたい。

①もとぶふれあい交流館について ②浜元地区に予定されているマンション建設計画について

仲宗根議員 もとぶふれあい交流館は一括交付金事業として平成二十五年度から二十九年度までの事業計画となっているが、これまでの活動内容、利用者数、事業費について、今後の事業のあり方についてどのような見解を持っているか、その事業を支援するための計画があるか。

教育長 本事業の活動内容は民話読み聞かせ、自然教室、紅型色挿し等を合計五百七十九回開催し、利用者数は約五年間で六千七十五人。この他に自由来館者が合計二万五千五百八人。事業費は二千万円で内訳は人件費や家賃等の管理費が約八十五%、講師への報酬等の文化承継費が約十五%である。今後の事業のあり



一般質問
仲宗根須磨子議員

方だが、一括交付金事業は年度毎の成果目標を策定し、その実績を検証する。利用者数の実績は計画の半分程度でこれまで目標達成できておらず、また近年は利用者数が減少傾向にある。従って本町としては現状のまま継続していくのは難しいと判断している。今後は事業者の意向も伺いながら支援していく方針を検討していきたい。

仲宗根議員 自由来館者の殆どが学校帰りの児童だ。確かに実績は計画の半分程度かもしれないが利用する子供たちは交流館を居場所として活用している。だから事業実績が目標達成していないからといってそのまま交流館の活動を停止するような考えは当局にないと知って安心はした。しかし運営には予算的にとても厳しく、今後どのような支援メニューがあるのか。

教育長 本事業については私たちも非常に評価している。ただこの

事業は五年間というところで計画されそのまま一括交付金で継続していくことは非常に厳しい。具体的にどういう事業があるとは言えないが来年度以降については検討していく。

仲宗根議員 もし交流館の活動がなくなってしまうのか考えたときに児童館設立に繋げるのが良いと考える。児童館設立に向けて今後の計画はあるか。

町長 交流館設立前に児童館設立の議論もしたが財源、予算の面で厳しく、今の一括交付金での交流館という選択になった。次年度からのことは教育委員会が窓口となり福祉課も含めて検討中である。

仲宗根議員 これから長いスパンで取り組むべき児童館の設立、そしてスピード感を持ってやるべき交流館の存続と並行しながら真剣に取り組んで欲しいと強く要望する。

仲宗根議員 現在、浜元区に予定されている分譲マンション建設計

画だが、浜元区では建設工事中の騒音・粉塵・赤土流出等、建設後の景観・住民による騒音等の諸問題から反対運動が立ち上がっている。業者と区民による懇談では、業者にも権利があるとし浜元区民は建設反対から譲歩して景観条例を守り建物の高さを十五メートル以下にするようお願いした。しかし業者はこれを受け入れず当初の計画のまま高さ三十一メートルのマンションを建設すると言う。この建設計画について景観委員会の協議内容と結果、また協議結果を受け本町として現在どのような作業の流れになっているか。

町長 景観委員会では、高さや配置、形態意匠、敷地の緑化等について協議、審査した。建物の高さについて本部町景観計画の基準に適合するよう計画の見直しを求める結果になった。

仲宗根議員 景観委員会として条例を守り高さ十五メートル以下が望

ましいという結果になったとあるが、今この業者からどのような変更申請がなされているか。

建設課長 十五メートル以下で指導勧告をしているが、業者は三十一メートルの計画のまま進行させてほしいという旨の文書を町に届けている。

仲宗根議員 住民の意見は全く反映されていないということか。

副町長 現状は景観委員会及び行政が考えている基本的な方針と業者との考え方、認識に大きな落差がありそれが埋まっていない状況である。

仲宗根議員 業者が景観条例に配慮している要素がどこにあるのか。もっと強い姿勢で住民の生活を守るために住民に寄り添った対応をしてほしい。

副町長 景観保全は重要なことだ。粘り強く業者を指導していく、交渉していくというところで決して業者の言うとおりに認めているということはない。

①備瀬海岸の安全対策について ②町道16号の整備について

具志堅議員 備瀬崎駐車場の南側から百メートルの間のコンクリートの擬木の柵が腐食し壊れている件について答弁を求めます。

町長 コンクリートの擬木の柵については、備瀬区からの要請を前からいただいております。町も現場を確認しております。備瀬区の要請を受けて、町より県へ要請を行っておりますが、今後の整備予定を県へ確認したところ、北部管内で管理している海岸施設の中で緊急度の高い施設を優先に整備していくことであり、備瀬区はフクギ並木や備瀬崎への観光客が年々増えて賑わっており、地域住民や観光客が安心、安全で地域の散策ができるよう再度県へ要請していきたいと考えております。



一般質問
具志堅 正英 議員

具志堅議員 この擬木の件は、平成二十五年から地域の方々と備瀬区長が再三、県や町に要請し、また平成二十八年十二月に町議会でも具志堅勉強員が取り上げ、質問されています。それから五年も経つんです。その間、ずっと柵が折れ、さびて朽ちています。景観上非常に見苦しい備瀬崎は、多くの観光客や地域の皆さんが来られます。この擬木の件は、長い間、備瀬区も町や県や関係機関に要請しておりますので、一日も早く危険性を取り除いて、また景観の面でも早くきれいに整備してもらいたいと思います。

建設課長 備瀬海岸の安全対策の件ですけれども、平成二十六年三月に字のほうから要請があり、ずっと県のほうにも要請しております。これからも地域住民、観光客が安心安全で地域の散策ができるように、再度県へ要請したいと思います。

具志堅議員 町道十六号の整備についてお伺いします。

町長 町道十六号の整備についてでございますが、備瀬観光集落整備構想基本計画において、町道十六号について、町道十六号についても位置づけしておりますが、近年の沖縄県との調整で一括交付金予算にそぐわないとの判断がなされ、町としても町道十六号線における排水の不良と舗装整備については、今後の整備課題として認識をし、また今後検討してまいりたいと考えております。

具志堅議員 この計画は平成二十七年二月九日に備瀬区においてフクギの里宣言が行われました。この宣言の前から町はコンサルタント会社を使いまして地域住民の調査を行い、住民説明も行って進めてきた事業だと思えます。この事業には三つの基本計画がありまして。①集落の生活環境の保全と地域資源の魅力発信に向けたサイン

計画、②町道十六号線の安心安全な道路整備計画、③散策路の安心安全な通行のための整備計画がありました。この計画の進捗状況をお伺いいたします。

建設課長 サイン計画については去年完了しております。散策路については一部まだ未完了のところがありまして、あと砂の流出のところもありまして、今回の議会、補正予算のほうで予算を上げて承認をもらっております。あと十六号線の整備につきましては、沖縄県との調整の中で、先ほど町長のほうからも答弁がありましたが一括交付金にそぐわないと判断がされました。その内容としましては、通常の道路整備で対応できるのではないかということを県のほうに言われ今回町道十六号は整備できない形になっております。

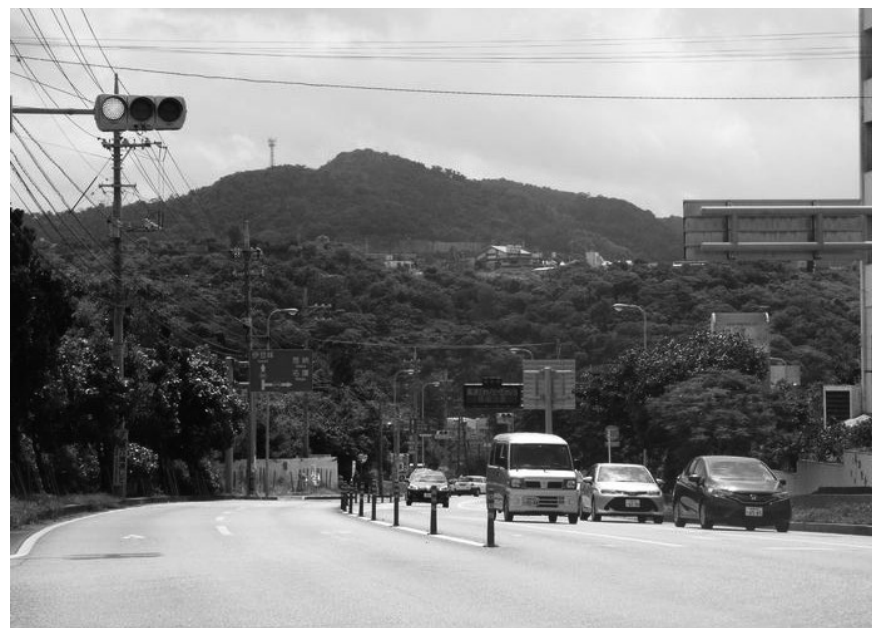
具志堅議員 町道十六号線の整備は中止、この町道十六号線の整備

計画は、多分、フクギ集落の整備計画のメインだったと思いますが、最初の住民説明会で町道十六号線の舗装と排水の件はどうしても備瀬住民からやってほしいという。それでこの整備計画がスタートしたと思いますが、この十六号線は何とかほかの予算を使って復活させてほしいと思います。

建設課長 町としても排水の不良や舗装整備については今後整備課題としておりますので、整備メニューを今後検討していきたいと思えます。

具志堅議員 ぜひ十六号線は当初の計画どおり事業を進めていただきたいと思いますが、この十六号は、地域住民の生活道路でありますので、地域の住民や、車とレンタカー、貸自転車、散策者がスムーズに通行できるように、しっかりと整備していただきたいと思えます。

①交通信号の系統化について ②役場職員採用について ③伝統文化について



本部高校入口付近交差点

松川議員 マリン歯科
付近交差点と本部高校
入口交差点の信号機を
系統化して交通渋滞の
緩和を図るといふ点で



一般質問
松川 秀清 議員

お伺いします。同交差
点は、海洋博記念公園
に向かう交通量の増加
が予想されます。右折
帯も矢印信号にしても
らいたい。
町長 信号機の問題に
つきましては本部警察
署になります。系統化
された信号機は町内に
はなく中南部の交通量
の多い道路や名護市の

国道五八号線の市街地
に設置されておりま
す。交通量に応じて信
号機の設定がなされて
いる。今後、本部警察
署と協議し渋滞緩和に
努めてまいります。
松川議員 現在の職員
採用条件は日本国籍を
有するものとして、全
県から受験できます。
その条件を変更して本
町の子どもを中心に本
町に住所を有する者、
本籍を有する者、又は、
子孫であることを証明
できるものとする。に
変更してもらいたい。
これまでの採用で職員
の住民に対する対応が
大変良くなっていま
す。街の評判も良く、
一定の成果は出たもの
と思います。今後採用
人数が減少する中、本
町子ども達に夢を与え
てもらいたい。

町長 十九年度から
二十五年度までは高卒
も対象の初級試験を実
施しております。現
在は上級試験のみ行っ
ています。受験資格を
四十歳以下としており
ます。今後とも幅広い
人材の確保についてど
ういった形が好ましい
か検討したいと思いま
す。色々工夫して地元
の人が受験できるよう
今後とも検討してまい
ります。
松川議員 伝統文化に
は、豊年祭、綱引き、
シンゲイ、エイサー、
ハリー等がありま
す。三百有余年続く先
祖からの財産を後世に
残すことは今の我々に
課せられた責務であり
ます。若者が少なくど
う伝えるか、又、資金
面でも区民の負担が大
きい。永く後世に伝え
る為にも、資金面から
の応援ができないもの
か伺います。
教育長 本町には貴重
な伝統文化財として、
具志堅のシンゲ、備瀬
のシンゲ、瀬底のウフ
ユミシンヌグイと獅子
舞、渡久地の松竹梅、
並里の三人棒、伊豆味
の女踊長伊平屋節を無
形民俗文化財に指定し
ています。これらを保
存、継承に努めており



ます。エイサーにつ
きましては青年団協議会
を支援しております。
伝統行事を実施、継承
して行こうとは地域の
活性化につながりま
す。元気な街づくりを
目指して、伝統文化の
保存、継承に可能な限
り支援を実施してまい
りたいと考えておりま
す。
町長 教育委員会とも
色々検討して、議論も
しております。ふるさと
納税が少しずつ増え
てきておりまして、そ
の中でも伝統文化、環
境、観光とか教育に
使ってほしいと言うご
意見等もありまして、
ぜひその基金も少し利
用できないかどうか含
めて、何とか芽出し
をできればと思ってお
ります。

本部中学校ナイター照明設備の 管理・使用方法



一般質問
真部 卓也 議員

真部議員 本部中学校
ナイター照明設備の管
理と使用方法について
伺います。
教育長 本部町内のナ
イター照明設備は、上
本部中学校のみでした
が、平成二十九年四月
一日より本部中学校も
使用可能になりました。
日頃はウォーキン
グ等で使用できるよう
に町民に無料開放して
おります。また野球や
その他スポーツにおい
てナイター照明が使用
できます。照明施設に
ついては、使用許可も
含め、教育委員会が管
理しております。町広
報や町ホームページ、
区長会での周知は行っ
ておりますが、町民へ
の周知徹底や有効利用
を図るため、継続して
広報していきたいと考
えております。ナイタ
ー照明の借用方法と料
金について、使用時の

禁止事項についてはウ
ォーキング等で使用す
る場合は、借用申請や
料金は必要ございませ
ん。その他団体におい
て使用する場合は、使
用期日の7日前までに
教育委員会へ使用許可
申請書の提出が必要に
なります。料金は一時
間につき、町内団体千
円、町外団体二千円と
なっております。禁止
事項については、学校
教育に支障のない範囲
内で照明を町民へ開放
していることが前提に
ありますので、目的外
使用や営利目的、管理
上支障がある場合は使
用を認めません。
真部議員 借用料金の
件ですが、本部町の代
表として派遣されるチ
ームなどへの措置はあ
るのか確認したいと思
います。
教育委員会事務局長
使用料に関して、規則
で定められておりまし
て、町内の団体でいい
ますと、各行政区、青
年団、婦人会、社会教
育団体、老人会を含め
てです。町体協、体育
協会に所属する専属す

る専門部、郡大会の前
の事前の練習等に関し
ては免除という形にな
ります。また、それぞ
れの団体が減免措置も
ありますので、字等で
利用する場合は減免措
置の形で対応していき
たいと思います。
真部議員 ナイター施
設の利用で犯罪や防犯
面などの強化にもつな
がり、青少年の非行防
止にもつながっていく
と思います。町民が体
を動かす場、地域のコ
ミュニティーというこ
とで活気ある町づくり
につながってくると思
います。最後に関連し
て今後、本町において
野球場建設も含め、総
合運動施設建設などの
計画はあるのか、町長
の意見をお伺いしたい
と思います。
町長 大変大きな質問
いただきました。若い
方々、野球団体からの
話もよく聞いておりま
すし、承知をしている
つもりであります。恐
ろしいほど莫大な事業
費がかかるわけです。
私どもの一般会計が
せいぜい七十億前後で

す。ぜひその辺の町の
税制状況もご理解、ご
確認をしていただけれ
ばと思っております。
野球場をつくるとなる
と、附帯設備、キャン
プ誘致する場合は屋内
練習場だとか二次グラ
ウンドだとかいろいろ
ありますし、そのあた
りも含めますと、もう
これは幾らかかるかよ
くわからない。スタン
ド形式によっても違い
ますし、つくり方によ
ってもあれでしょう
し、個人的な概算でも
最低二十五億前後かか
るのではないかと思
います。となると、私
どもの七十億円の予算
でみんな吹っ飛んでしま
うわけですね、他の事
業は一切できないし、
それが後年でつかけが
借り入れしてつくった
にしてもということ
と、他の事業とのバラ
ンスだとか、そんなこ
んな考えますと、なか
なか厳しい面もある。
とにかく当面何かしよ
うやというようなこと
で、既存の本部中学校
のグラウンドに照明器
具をつけて、とりあえ

ず町民のため野球団体
を始め皆さんに利便性
を図ってもらおうとい
うような趣旨もござい
ます。また野球場とな
ると大きな計画になる
と思いますので、町の
総合計画や当面の五年
計画だとか十年計画、
その中で位置づけて検
討する必要があると思
います。現在の体育館、
陸上競技場、非常にす
ばらしい施設だと思っ
ておりますが、その後
の問題、例えば老朽化
やつくり直しの問題も
あって、これは北部振
興策だとかという検討
もしたりしています。
野球場につきましては
今後相談をしながらで
きる、できないも含め
てですね、将来のまた
同体の、いわゆる愛好
者の方々がどういうト
レンドがあるのか等も
含めて、しっかりと皆
さんと議論をして、ぜ
ひいろいろご相談をさ
せていただければと思
っております。

①地域活性化について(上本部飛行場跡地) ②農業委員と農地利用推進委員募集について

比嘉議員 飛行場跡地の利用計画、飛行場内の町道、インフラ整備、町有地の利用及び農業委員、農地利用最適化推進委員の募集、以上四点について伺います。

町長 飛行場跡地は、平成二十四年三月に飛行場跡地利用基本構想基本計画を策定しております。各方面の意見や提案を受け、今事業を進めていける場所です。基本構想の内容として地域振興による農業振興と観光振興を連携させた内容となっております。飛行場跡地の町道インフラ整備は、現在幹線道路となっており、石川謝花線の整備に着手し、来年度には供用開始の予定でございます。また関連する道路につきましては、今後

の飛行場跡地の施設整備等と並行して整備していきたいと考えております。飛行場跡地の町有地利用につきましては、平成二十五年度に農業生産法人もとぶウエルネスフーズ株式会社による亜熱帯特殊農産物加工施設整備に對し補助を行い、地域の生産者と民間を結びつけ、産業の振興に取り組んでいます。

農業委員について は、本部町農業委員候補者評価委員会において、農業への熱意、見識度、地域からの信頼度、推薦、応募の理由等をもとに候補者を評価し、その評価をもとに町長が候補者を決定し、町議会の同意を得た上で農業委員に選任する流れとなります。また一方、農地利用最適化推進委員につきましましては、町内を五つの地区に分け、農業委員会が総会の審議を経て、各地区に選任する流れとなっています。

比嘉議員 飛行場跡地において、今出ている、

答申、オファーがあるのか。

企画政策課長 もともとこの土地を利用したいと言っていた民間企業がございまして、そこで一緒になって連携したほうがより活性化につながるのではないかとということで、今、話を進めているところでございます。開発行為が必要な土地になりますので、事前審査という形で、町を通して県に書類等は出て、その回答を得ている状況でございます。

比嘉議員 飛行場跡地の北側で、町のほうで農地とかを集約して農業者に貸すことができないか。

副町長 飛行場跡地は国有地になっておりましてけれども、議員も承知のとおり、一括交付金を使いましてそれを町が再度買い戻したいきさつがあります。国有地を国のお金を使ってまた買い戻したというような、非常に巧みな技がそこにありますけれども、一括交付

金でございしますので事業の実施要領に基づいて、その利活用については基本計画に基づいて活用していかなければいけない実績があります。ところが当地区にあつては民有地と町有地が混在しているわけですから。当該地域についてはとても今となつては利活用について時間がある状況にありません。現状の中では即農業者のほうに貸付けするといったようなことについては、まだまだ時間を要するといったような現状にあるかと考えております。

比嘉議員 飛行場跡地の南側のインフラ整備ができないか。

建設課長 町道山川謝花線、町道北里豊原線の道路整備は、まだ未整備の状態でありまして。道路の排水整備については効率化を図るため、飛行場跡地利用計画とともに道路整備、排水整備を検討していきたいと思っております。

公営企業課長 下水道

につきましては、下水道事業計画地内であり、かつ新たな町道が整備されれば下水道も整備していく考えであります。

副町長 飛行場跡地の南側の部分に住宅が建ちつつあります。そういった部分の住宅建設が加速できるような形で道路を含めて事業のメニューを検討しながら、開発を進めながら、できる部分の中から開発していきたいと考えております。そのためにも、地域の地権者の皆さんと、地域の方々の協力もいただくかと思っております。一緒になつてできる部分の中から開発を進めていきたいと考えています。

比嘉議員 農業委員と推進委員の違いは、

産業振興課長 農業委員は農地の権利、移動の許可、農用地に利用集積等、推進委員は耕作放棄地の発生防止と解消の推進等になります。



一般質問
比嘉 由具 議員

①町営住宅のあり方 ②医療費の抑制 ③町営ホールの建て替え

一、町営住宅のあり方について

具志堅議員 五棟の町営住宅の建築計画があるという聞いていますが、その一棟を福祉住宅にすることは可能か伺います。

町長 今現在、町としては平成二十九年から三十三年にかけて五棟の町営住宅の建築計画をしていて、北振事業にエントリーをしている所で決して決定はしていないという事もご理解頂きたいと思えます。北振事業での住宅整備の目的が健康で文化的な生活を営むに足る住宅、あるいは住宅に困窮する低所得者に対し、低廉な家賃で賃貸をするということと、また大きな柱として若年層の定住促進を促す、いわゆる地域活

性化につなげるという大きな目的があります。ご質問の福祉を目的とした住宅整備につきましては、メニューも含めて厳しいという感じがいたしております。

二、医療費の抑制について

具志堅議員 本町の医療費は、たしか一人当たり三十二万円ほどと聞いています。県内で、九番目に多い金額と聞いています。県平均は二十八万七千円程度です。そこで本町の医療費を抑えるためにどのような考えをお持ちか伺います。

町長 平成二十六年の本町における一人当たりの医療費につきましては三十二万三千三百四十八円で、平成二十七年には二万三千四百八十七円の増額で三十四万六千八百三十五円というところで、依然と高い状況でございます。本町では住民健診の集団健診時の基本健診料を無料

化としています。それから、各種予防接種の費用低減化も行っております。本町はジェネリック医薬品の普及促進など、又、事務的な面からも医療費の抑制を図るため取り組んでいるところであります。

三、町営ホールの建てかえについて

具志堅議員 かなり老朽化が進んでいますので、建てかえの計画があるのか伺います。

町長 町営ホールは築五十年以上が経過しており、老朽化が著しい状況であります。今後は、老朽化や駐車場不足などの現状を踏まえ、施設のあり方を検証し、他施設との複合化など、統合の可能性も含めて検討してまいります。町営市場には、現在四十一店舗が入居しております。今後の施設のあり方等の議論については、町の方針を示し、町営市場の各事業者や周辺事業



本部町営ホール(本部町営市場前)



一般質問
具志堅 勉 議員

者及び周辺住民と十分な協議を重ね、ご理解をいただいた上で取り組んでいく考えでございます。

平成29年第4回6月定例会にて報告

平成28年度本部町一般会計繰越明許費事業一覧

一般会計

(単位：千円)

事業名	金額	繰越要因
個人番号カード交付事業	(4,451) 1,039	マイナンバーカード発行事務等の進捗状況により繰越。 平成30年3月完了予定。
臨時福祉給付金事業	(111,969) 79,225	国の第2次補正予算(10月成立)で経済対策分として計上されたため事業期間が短く繰越。平成30年3月完了予定。
地域介護・福祉空間整備事業	(2,222) 2,222	平成29年3月に交付決定となったため事業期間が短く繰越。 平成29年7月完了予定。
赤土流出防止検討調査事業	(6,786) 6,786	管理用道路の用地交渉が不調であったため、線路の計画変更等を行い繰越。平成29年9月完了予定。
畜産・酪農収益力強化整備等対策事業	(1,7657) 1,7657	平成29年1月に交付決定となったため事業期間が短く繰越。 平成29年10月完了予定。
辺名地かんがい施設整備事業	(7,025) 6,480	受益地の選定等に不測の日数を要したため繰越。 平成29年8月完了予定。
もずく種苗供給施設改修事業	(2,250) 2,250	種苗施設の使用期間の関係上、現場着手が年度末になったことから繰越。平成29年11月完了予定。
沖縄北部地域水産業生産基盤機能強化事業	(584,132) 584,132	平成29年3月に交付決定となったため事業期間が短く繰越。 平成29年11月完了予定。
八重岳観光拠点整備事業	(131,686) 119,188	地権者との調整どにより、用地取得に不測の日数を要したため繰越。平成30年2月完了予定。
健堅本部落線道路改良事業	(102,231) 41,331	地権者との調整どにより、用地取得に不測の日数を要したため繰越。平成30年2月完了予定。
石川謝花線道路改築事業	(121,916) 115,945	地権者との調整どにより、用地取得に不測の日数を要したため繰越。平成30年3月完了予定。
伊野波本線道路改修事業	(275,658) 205,654	工事用用地に借り上げ交渉に不測の日数を要したため繰越。 平成30年3月完了予定。
瀬底小学校校舎改築事業	(56,968) 34,020	学校関係者との調整に不測の日数を要したため繰越。 平成29年8月完了予定。
文化複合施設整備計画策定事業	(13,230) 9,261	事業採択のための施設整備計画の見直し等による策定期間延長により繰越。平成29年9月完了予定。
合計	(1,438,181) (1,225,190)	—

※上段の()は全体事業　下段は繰越金額

平成29年

第4回本部町議会6月定例会審議案件一覧

議案番号	件名	議決年月日	議決の結果
報告第3号	平成28年度本部町一般会計繰越金明許費繰越計算書の報告について	平成29年6月20日	報告
報告第4号	専決処分の報告について(本部町フクギ集落内散策路整備工事)	平成29年6月20日	報告
議案第26号	専決処分の承認を求めることについて (本部町税条例の一部を改正する条例)	平成29年6月20日	承認
議案第27号	専決処分の承認を求めることについて (本部町国民健康保険税条例の一部を改正する条例)	平成29年6月20日	承認
議案第28号	本部町固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について	平成29年6月20日	原案可決
議案第29号	工事請負契約の締結について(八重岳線親水性護岸整備工事)	平成29年6月20日	原案可決
議案第30号	本部町指定金融機関の指定について	平成29年6月20日	原案可決
議案第31号	学校管理下における事故に伴う示談について	平成29年6月20日	原案可決
議案第32号	平成29年度本部町一般会計補正予算について	平成29年6月20日	原案可決
議案第33号	本部町教育委員会委員の選任同意について	平成29年6月20日	同意
	総務文教常任委員会閉会中の継続調査申出書		
	産業建設常任委員会閉会中の継続調査申出書		
決議第2号	議員派遣の件	平成29年6月22日	原案可決

各常任委員会にて閉会中の継続調査申出書が提出され、本会議にて下記のとおり決定しました。

◆総務文教常任委員会◆

①調査事項

- 本部高校の存続についての調査
- 小中学校統廃合・学校施設の維持管理等についての調査
- 環境協力税の導入についての調査
- 児童・生徒の防犯対策についての調査
- 健康・長寿促進と医療費等の高騰抑制対策についての調査
- 子育て支援対策についての調査
- 町内におけるいじめ問題対策についての調査

②期限

調査終了まで

◆産業建設常任委員会◆

①調査事項

- クルーズ船拠点港に関する調査
- 産業・経済を担う人材の育成に関する調査
- 農業の新規就農者に関する調査
- 企業誘致に関する調査
- 国道449号の早期整備に関する調査

②期限

調査終了まで

常任委員会の所管事務調査とは？

常任委員会に与えられた固有の権限であって、「調査事項の実態を把握し、分析し検討して問題点をとらえ、それらの問題を改善し改革するにはどのような措置を講ずればよいか、採るべき対策なり政策を究明して結論をだすこと」である。単なる実態や実状を確認するだけでなく、問題点に対する改善策と対応策を結論づけることが調査の究極の目的である。

北部市町村議会議員・事務局研修会

平成29年7月6日、平成29年度北部市町村議会議員・事務局研修会等が、伊平屋村にてありました。

【目的】議会の円滑な運営と地方自治の振興発展を図ることを目的に研修会及び情報交換会を開催する。



本部町議会議員及び町内各種団体意見交換会

本部町議会も3月の改選において、新人議員を含む14名の新体制でスタートをし、町政発展と日本一元気な本部町を目指し、日々奮闘しているところでございます。町議会といたしましても、地域の皆様とのより一層のパイプづくりを考えており、町内各種団体との意見交換会の場を持ち、更なる町政発展、町民参加型の町づくりを目指していこうと考えており、現在、6団体との意見交換会・交流会を行っております。



本部町建設業者会



本部町区長会

編集後記

三月二十九日より、新体制で本部町議会がスタートしました。六月定例会では、新人七人（全員）含む十一人が一般質問を行いました。過去四年間にはない、人数の多さでした。

これから四年間、十四人が本部町発展のため、活発な議論を繰り広げていきます。

町民の代弁者として、誇りと希望を持って頑張つてまいります。夏は暑くてあたり前と志をもつて、日々過ごしていきます。

議会広報委員

具志堅 勉

もとぶ議会だより

ハイサイ 第111号

発行 本部町議会

編集 本部町議会広報

調査特別委員会